

市民と議会を結ぶ架け橋

議会 上野原市 だより

No.51
平成29年
11月発行

9月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
上野原をきれいにする会(UKK)

特集	2
定例会で決まった主なこと	4
一般質問	10
委員会活動	14
議決結果等一覧表	18
行政視察・研修会	19
市民の声 他	20



うえのはらで頑張る人 vol. 4 上野原をきれいにする会(UKK)

景観が良くなり、県外から多くの人に
上野原に立ち寄ってもらうことにもつながります。



10年ほど前にNHKの「難問解決！ご近所の底力」という番組に出演し、以来長年にわたり清掃環境美化活動を続けている「上野原をきれいにする会」の皆様にお話を聞きました。

上野原をきれいにして

観光につながる事が理想！

この会の結成は、いつですか。



■10年ほど前に、会名が「たのしいまちづくり研究会」の活動の一環として清掃活動をしていた時、当時NHKの「難問解決！ご近

所の底力」という番組に出演したことから、「上野原をきれいにする会」を結成しました。ボランティア活動として現在29名の会員で活動をしています。話を聞いて、手伝おうと思っただ方が入ってくれています。

主に、どのような活動をしているのですか。

■市内の駅・河川敷・風致地区など景観がきれいな場所を、草刈りや空き缶拾い・ごみ拾いなどの作業をするなど、清掃による環境美化、ごみのない上野原の実現に取り組んでいます。

■木を植え景観を良くするなど、観光客が

来てくれるような環境づくりを心がけています。

■毎月1回、第2土曜日の午前中に、市内全域を対象に活動してきましたが、最近は少しエリアを絞って活動しています。

■6月には、上野原駅前のごみ拾いと桂川漁業組合周辺の草刈り作業を行いました。人の集まるところはごみがあるので。

■与謝野晶子の碑の周辺がきれいになるよう活動しています。景観が良くなります。

■拾ったごみは、置いておくと、市が月曜日から火曜日に取りにきてくれます。

「やりがい」を感じるのはどんな時ですか。



■「ありがとうございます」と感謝の声をかけられた時です。達成感がありますね。

■ごみ収集活動をしていて、周りの方々の意識が少しでも高くなっていることを実感した時は、充実感があります。

■効果はあると感じています。河川敷や発電所でごみ収集していると、釣り人から声をかけられたり。活動しているとごみを捨て

なくなりますね。

■きれいにして虫を増やそうと思っています。

今後、活動の課題は何ですか。



■私たちのこの活動を引き継いでくれる若い後継者が少なくなっていることが悩みです。女性の参加も。

■若い世代の方々の参加率が低いです。

■この会の知名度が低い。

■ボランティアの域を超えてしまっています。ごみトーンも拾っているのです。

■複数の団体と協力し合っていく必要があります。

■県への働き掛けも必要だと思います。

■河川の管理者が力を入れてほしい。

行政や、市議会に望むことはありますか。

■上野原は、きれいな観光資源が豊富です。

遠くから見るときれいです。近くに行ってみるとごみだらけで汚れています。ごみは拾えるけれど、草刈りなど環境面に関し



ては、行政にお願いしたいです。

■「ごみ持ち帰り運動」の呼びかけや、粗大ごみの不法投棄防止へ取り組み

てほしいです。

■川のハイキングコースを作してほしい。

■意識啓発の掲示板や、表示板などを増やしてほしい。

■「清掃の日」をつくるなど、企業・学校、行政から働きかけを行ってほしい。企業（事業所）ぐるみでのごみ減少や、学校で市内の清掃活動の声かけなどを行ったり、色々な団体にも、ごみ減少運動を進めていただきたい。

取材を終わって

取材に当たって、代表にお声をかけたところ、ウィークデーにもかかわらず時間を割いていただき8人のメンバーから、素晴らしいお話を伺いました。紙面の都合ですべてを記載できないのが、残念です。ありがとうございました。

9月 定例会



定例会で決まった主なこと

平成29年第3回定例会は、9月5日(火)から9月27日(水)までの23日間の会期で開催されました。

審議された議案

市長提出議案	28件
議員提出議案	1件
請願	1件
計	30件

議案名・議決結果等は、18ページをご覧ください。

議案第99号

上野原市公民館条例及び上野原市学校施設及び公民館使用に関する使用料条例の一部を改正する条例制定について

条例

秋山公民館と秋山東部公民館 の統合及び使用料条例の改正

「秋山公民館」と「秋山東部公民館」を統合し、現行の秋山東部公民館が「秋山公民館」となります。

これにより、上野原市公民館条例と上野原市学校施設及び公民館使用に関する使用料条例の一部が改正されます。



議案第117号

上野原市道路線の変更について

路線 変更

四日市場上野原線、改良工事に 伴い市道路線が変更されます。

主要地方道、四日市場上野原線の田野入地区における県道改良工事に伴い、市道田野入線の起点付近の付け替えを行うため、当該部分の市道路線が変更されます。

これについては、総務産業常任委員会で現地視察を行いました。



補正
予算



電話交換機交換修繕費に

5452万9千円を補正

庁舎建設時の電話交換機設置より13年が経過し、耐用年数が過ぎ、故障時の修理や交換機等の対応が出来ないため、交換工事を行うものです。

補正
予算

塵芥処理費に

1052万7千円を補正

〔消耗品費〕耐火用モルタル96万3千円
〔修繕費〕ごみ・灰クレーン修繕626万4千円
トラック用秤修繕33万5千円
〔委託料〕点火バーナー点検整備296万5千円

年度当初に予定された修繕ならば、当初予算に計上すべきだという意見がありました。

補正
予算



秋山公民館周辺駐車場用地を原状復帰します。

秋山公民館周辺駐車場用地を原状復帰するための費用として、276万円を増額補正するものです。その後、土地は持ち主に返還されます。

請願

教育予算の拡充を求める請願を採択しました。

教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
提出者

北都留小中学校
PTA連合会会長
清水一恵 他3名
紹介議員
長田喜巴夫

教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持などを求めたものです。
全会一致で採択し、国の関係機関へ意見書を提出しました。

※提出した意見書は、議会ホームページでご覧いただけます。

28年度
決算

わたしたちの納めた税金 使いみちを審査しました。

一般会計・特別会計歳出総額 前年度比3.5%減

185億9468万2499円

市長は、翌年度の予算を決める3月定例会までの間に、市の監査委員が事前に審査した前年度の決算について、議会で審査を受け、認定されなければなりません。

市議会では、9月19日から21日の3日間、決算特別委員会を設置し、昨年4月から今年3月までの1年間に使われた市のお金について、無駄のない使い方をしていっているかどうか、また、行った事業における成果などについて審査しました。

その結果、議案第114号「平成28年度上野原市一般会計及び特別会計歳入歳出決算について」は異議があり、起立採決した結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

また、議案第115号「平成28年度上野原市病院事業会計決算認定について」は、全会一致で認定すべきものと決定しました。

議案第116号「平成28年度上野原市病院事業の資本金の額の減少について」は、全会一致で可決すべきものと決定しました。



定例会最終日、決算特別委員会の報告をする
田中英明委員長

平成28年度の決算規模

一般会計

115億8315万679円

(前年度比 6億183万1427円減)

特別会計(16会計)

70億1153万1820円

(前年度比 6697万1417円減)

決算特別委員会

委員長 田中英明 副委員長 久嶋成美

委員 白鳥純雄 遠藤美智子 川田好博 東山洋昭 小俣 修 川島秀夫
杉本公文 山口好昭 長田喜巳夫 鷹取偉一 岡部幸喜 尾形重寅



決算特別委員会の

主な

質

疑

答

弁



市営住宅

- Q** 大道団地などは空き住宅があるが、市営住宅についての今後の方針はどうなっているか。
- A** 長寿命計画を進めていますが、大道団地については、空き次第、住宅建設を進めていく予定です。現在、県に県営住宅を建設してほしいと要望しています。

高速道路救急隊支弁金

- Q** 高速道路救急隊設置運営支弁金として約1500万円の歳入があるが、その根拠などは。
- A** 年間83件の出動をしましたが、定額部分と出動件数による算定式で計算されます。上りは、談合坂SAと相模湖IC間、下りは、上野原ICと談合坂SA間が管轄です。

管理職手当

- Q** 市では、管理職手当を現在20%カットしている。仕事への士気や人材確保に問題が生じると思うが。
- A** 財政面を考慮しながら、見直しを検討していきます。

井戸水の水質検査

- Q** 毎年、市民宅の地下水(井戸水)の水質検査を実施しているが、災害時等に飲料水を含めた利用・活用は出来ないか。
- A** 地下水の利用は、災害時等に有効と考えています。今後、関係部署と協議していきます。

生活バス路線維持費補助金

- Q** 前年度、委託先からの赤字申請額に対して60%の補助金を支払っているとのことですが。
- A** 例年、富士急から補助申請を受けて、補助金要項に基づき上限を決めて補助金を出しています。28年度の補助金は、赤字申請額の63%です。

道路整備の地元要求の実現

- Q** 地域からの要望に、どれくらいの対応ができていますか。
- A** 例年、要望書・陳情書が25～33件提出されています。現時点では、緊急を要する地域を優先に5割～8割(地区により)消化しています。今後も引き続き、要望に対して整備を進めていきます。

決算特別委員会の

主な

質

疑

答

弁

スポーツ人口とテニス場改修

Q 社会体育施設の利用回数を見るとテニス場は野球場より多い。これは、テニス人口が多数いるという事だが、この実績と現状を見て、どう考えるか。

A 高齢者も含めてテニス人口が多い事は認識しています。状況等も確認しながら、今後検討していきます。

U B C の経営

Q UBCとの合意事項である3000万円を29年度には執行するという事だが、経営の安定化は確保されたのか。

A 取締役の入れ替えや代表者の交代で大手CATV会社の最高顧問や役員の3名が加わる事で安定化を図ります。

市立病院利用者の減少

意見 平成31年3月に指定管理の契約が終了する。病院運営は、市と指定管理者が良好な関係をつくるのが大切です。それと共に、病院を利用する市民のニーズを的確につかみ、それを反映していくことが、今後の市立病院利用率アップにつながるのではないのでしょうか。

中部丘陵活性化事業支援業務

Q 調査の結果、旧平和中を除けば事業化が難しいと結論が出た。もっと違ったやり方があったのでは。

A 談合坂SIC[※]は大目・甲東・大鶴の地元の要望から事業化が進められてきました。その後、地域活性化の要望があり、国の先導的官民連携支援事業を活用したものです。

※SIC…スマートインターチェンジ

荒廃農地

Q 耕作放棄地の把握は。また、条例制定を行う考えはあるのか。

A 本年新しい農業委員が選出され遊休農地、耕作放棄地の把握調整を行っています。現在農地台帳システムで整備を進めています。条例については、現在検討していません。

鳥獣害対策

Q 鳥獣被害が深刻な状態、特に猿の対策に他県との連携は。

A 県の管理計画捕獲数より多く、市費を投入、捕獲した。拡大する被害状況を県に報告し個体数を増やす要望をしてきた。近隣市や神奈川県と連携し、箱罠の増設や巡視の強化等の対策強化に努めます。

28年度
決算

上野原高校3年生 決算特別委員会を傍聴



熱心に傍聴する高校生

9月20日、上野原高校3年生11名が決算特別委員会を傍聴しました。

上野原高校では、昨年夏より選挙権年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、社会を築いていく主人公となる高校生の政治への関心を高めるため、授業の一環として定期的に本会議や決算特別委員会を傍聴されています。

がん検診事業や介護保険事業など、わたしたちの生活に身近なことが議論されていることに親近感を覚えた様子で、質疑や答弁のやりとりを真剣に聞き入っていました。



初めて決算特別委員会を傍聴した新鮮な感想をいただきましたので、ご紹介します。



上野原高校3年
矢崎 ありさ さん

初めて議会を傍聴し、緊張感がとても感じられました。比較的男性が多い中で、副委員長が女性だったことに驚きました。医療に関する話し合いで、聞いている側として「議会」があることで私たちの生活の制度が話し合われていることは大切だと改めて感じました。

また、女性の議員さんがいることで、女性の死亡率が高い「がん」についても教育をしていく取り組みを行っていききたいことに強く関心を持ちました。沢山の話を聞く事ができ学べて、有意義な時間を過ごすことができました。



上野原高校3年
市川 百花 さん

市議会を傍聴し、議員の方々が様々な質問をしているところを見ました。その質問の内容はどれも市民に大きく関わりがあることで、市民の代表として私たちのために熱心に話し合われている議員の方々の姿に感激しました。

また、私たちの生活をより良くするための意見や要望を沢山言われていました。今まで議員さんが何をしているか詳しく知らなかったけれど、市民にとってとても重要な役割を担っていることがわかったので、市議会議員の選挙の時には、しっかりと考え投票したいと思いました。

情報通信基盤整備事業について



長田喜巴夫

質問

26年12月8日、UBCは市と文書協定を結び、これを基本に今後の取り組みを明らかにしています。以下具体的に伺う。

質問

市の考えるCATVの本来の目的は、

答弁

地域に根ざしたメディアとして、地域情報、防災情報

答弁

各分野で活躍されている3名が新たに取締役に就任したことで、大手CATV会社や企業と強固な繋がりができ、大型資本参加の道筋ができました。

質問

市の広報の提供などへの役割を果たすものでなければならぬと考えています。

答弁

ONUボックスとテレビの間に特殊な機器を設置するなど、相当な費用が見込まれ、現時点では難しいです。

答弁

加入者の増加・拡大方針は、地元密着、市民が主役となる番組作りやイベント、行事等をタイムリーに放送し、新生UBCを前面に出し加入拡大を図るとしています。

意見

全世帯配信は行政の役割と任務です。ONUボックスを活用した積極的な取り組みを求めます。

答弁

取締役5名のうち3名が市外者で一人はジャパンケールキャスタの株現執行役員。一人は株東京デジタルネットワークの専務執行役員。取締役会長に就任された方は、企業経営及び財務



情報通信基盤整備事業について



杉本公文

質問

市は、UBCの大型資本導入と社長交代などを条件に年間3千万円を支出するとの事ですが、どのように経営基盤の安定が得られたと判断したのか伺います。

答弁

超過を解消できるのか、あるいは3人の関連会社がUBCを支援する業務提携などをしているのか伺います。UBCは、経営のプロとして信頼の厚い最高顧問に株式の譲渡を行い、大型資本への経営参加の道筋ができ、3名の役員で経営の安定化を図っていきます。

答弁

26年12月のUBCとの合意文書に基づく履行は、代表交代や株式を譲渡した方が、多方面にパイプを持ち各分野で活躍され、この方を含め3名のCATV関連の役員をされている方が、UBCの役員に就任したので経営基盤の安定につながります。これらをもとに市も合意事項の3千万円の履行を検討しました。

意見

3名の役員あるいは関連の会社が、UBCに出資などの支援の担保がなければ、市が、3千万円の支援をしてもUBCの赤字経営は全然変わらずムダな支出です。

質問

株が個人に譲渡され、社長が交代しても経営の中身が変わらなければ意味がない。個人への株譲渡がなぜ大型資本の提携になるのか。3名の新役員になった方がUBCの借金8億、累積赤字9億の経営で、債務

他に、災害対策について質問しました。

大規模災害対策について



久嶋成美

質問 市が今力を入れている防災と減災対策は。

答弁 地域防災計画の実効性を高めるために、行動計画を定めながら、企業とか各施設にも波及されるような活動をしています。

質問 8月に行われた防災講演の中で、一番大事なのは自助である、自分の身は自分で守ることから始める、自分の身が守れて初めて共助の輪が生まれる、共助で地域コミュニティをしっかりと築いた中で公助の手を回すことができる、と先生は話していました。この基本的な重要事項をいつ、どうやって住民に説明するのか。

意見

自主防災組織の育成、地域防災リーダーの育成に力を入れ、避難所運営に生かすべきと考えます。

他に、情報通信基盤整備事業、上野原こども園について質問しました。

答弁

総合防災訓練の時、集まった方に説明したり、そういう機会を増やしていく事が必要だと思います。

質問 避難所運営の役割分担はどうなっているのか。

答弁 市災害対策本部活動要領の



人にやさしい・安全・安心なまちづくり



白鳥純雄

質問 災害時に機能する道路改良について、市役所西側市道・中央防災公園横都市計画道路りんどう通り線における整備の取り組みへの考えは。

答弁 防災拠点の周辺道路につきましては、重要な路線と位置づけており、防災担当部署や地元住民の皆様方と調整を図り、理解を得る中で防災拠点に合わせた道路整備を進めていきたいと考えています。

答弁

教育環境格差の是正について、少子化対策と、平等な教育環境整備への対応について考えを伺う。

筆問

少子化については、現在コミュニティスクール、学校運営協議会の設置の準備を進め、来春2校に学校運営協議会を設置し、子供達の教育環境の充実を考えています。短期間でなるべく全校にエアコンの設置が出来るよう進めていきたいと思

答弁

います。
長寿社会への対応について、生涯スポーツのための施設整備と健康長寿上野原への取り組みは。

質問

誰もが気軽に楽しめ、活動出来る総合型地域スポーツクラブやニュースポーツなどのスポーツ環境の充実を図っています。質問のテニスの全天候型施設、オムニコート整備など利用者の利便性の向上に向けて財源確保を含め調査研究して参りたいと考えています。

答弁

他に、災害時の防災施設の状態について質問しました。

他に、災害時の防災施設の状態について質問しました。



人々が集う魅力あるまちづくりについて



山口好昭

質問 市の交流人口の実情は。

答弁

市において本格的な人口減少時代を迎え、地域活力の維持、向上を図るため市内外から多くの人々を呼び込み、交流人口を拡大させることが地域活性化の切り札として大きく期待されています。市に人々を呼び込み、地域の活性化を図るため、市の各地域が持つ自然や景観、歴史、伝統、文化等の資源を生かした地域独自の取り組みを行い、交流人口と誘客の増加につながる情報発信と環境づくりに取り組んでいるところ です。昨年度の概算では入込調査などにより28年度においては45万2875人の交流人口が創出できたと思っています。

質問

市の交流人口の上位5番について伺う。

答弁

1位秋山温泉で6万9061人、2位オリムピックカントリークラブで5万



5883人、3位上野原カントリークラブで4万5679人、4位レイク相模カントリークラブで3万9940人、5位サンメンバードカントリークラブで3万8900人となっております。今のお答えをした内容は、対象観光地点ですが、登山客、山としての入込数の概算では、経済課が持っている数値で言いますと、1位八重山で約5760人、2位要害山で約4320人、3位坪山で約4000人、4位高柄山で約2880人、5位扇山で約2160人です。

市民活動支援事業について



東山洋昭

質問 交付対象になった事業は。

答弁

地域の課題解決や地域の人材づくりにつなげていくことを目的とし、今年度は8団体8事業に交付決定を行いました。対象事業として、音楽を通して市民交流、スペースを創造する事業、市ゆかりの芸術作品を展示する事業、地域の歴史資源等を活用する観光振興事業等多岐にわたっています。

質問 担当課の感想は。

答弁

どの市民団体も自分たちの地域や市をよくしたいとの強い思いをもっていることを実感しました。こうした団体が今後増えていき、市民活動が活発になることを願っています。また、各団体が個別に各事業に取り組むことだけではなく、団体同士が交流をし、それらの思いを共有していくことで新たなまちづくりが生まれるものと考えています。

意見

この支援事業の目的は市民と行政による協働のまちづくりを進め、地域課題の解決や地域活性化、地域の人材づくりにつなげるため、市民が主体的に取り組む市民活動に対して支援を行うものです。地域を担っている今を生きている私たちも、将来を担う世代も力を合わせていくことが大きなポイントだと思います。

他に、「ごみ問題、地域の「たから」」について質問しました。



四方津駅のバリアフリー化について



川田好博

質問 四方津駅のバリアフリー化

についての5つのプランが

議員全員協議会で説明があ

った。A案とC案は、駅舎

の半橋上駅としてコモアプ

リッジと直接結ぶ案、D案

とE案は、コモアブリッジ

から国道ないし駅前広場ま

では、単独でバリアフリー

化する案があると説明され

たが。

答弁 概算事業費はA案とC案は

おおむね28億円から30億円、

市の負担は18億円から20億

円、D案とE案は、12億円で、

市の負担は約2億円から2

億3千万円を見込んでいま

す。

質問 庁内でどこまで検討が進ん

でいるか。

答弁 総合的に判断し、単独バリ

アフリーのD案かE案で検

討が進んでいます。

質問 国道の歩道整備事業の基本

が確定次第、設計作業に入

り、2020年度までの整



備めざして努力するという
ことでよいか。

答弁 2020年度完成を目標に

進めています。

質問 四方津駅周辺のバリアフリ

ー化については、住民の関

心も高い。自治会、管理組

合などと丁寧に対応する必

要があると思うが。

答弁 公表できる部分については

公表して丁寧に対応してい

きたいと思えます。

質問 四方津駅南側の問題につい

ても早急に検討していただ

きたいが。

答弁 駅北側を優先しているの

で現段階では考えていません。

高齢者の運転免許証返納時の支援について 女性の視点の防災対策について



遠藤美智子

質問 近年、高齢ドライバーの交

通事故が増加している。高

齢者の事故防止の一つに

「免許証自主返納制度」制

定後、返納する高齢ドライ

バーが増加している。市の

返納時の支援事業は。

答弁 市では現在、支援優遇制度

は実施していません。今後、

返納時にデマンドタクシー

回数券の配布・バス乗車に

対する補助等、協議会の議

題の一つとして検討してい

きたいと考えます。

質問 女性の防災リーダーの育成

をどう考えるか。

答弁 男女共同参画の視点から

も、女性が防災の知識や技

能を習得することは必要で

す。今年、県で行う防災

リーダー養成講座に、各地

区から、女性の受講者が推

薦されています。

意見 一度、市の防災士が何人い

るのか掌握して、市が委嘱

する防災指導員と共に、専

門的な資格を持った方々が

活躍できる体制を作るべき。

質問 女性の声が反映された備蓄品

(粉ミルク・おむつ・生理

用品など)の準備は。

答弁 現在、避難所用パーテーシ

ョンや授乳室・更衣室など

を進め、男女別のトイレの

整備や生活用品等も計画的

に補充整備を進めています。

意見 行政が、もっと自助を促す

アクションを起こすべき。

要望 災害時、避難所に全市民の

入所は不可能。今後、在宅

避難を可能にするための備

蓄の啓発と、日中に女性や

高齢者を対象にした防災セ

ミナーの開催を要望する。



総務産業常任委員会
文教厚生常任委員会

2常任委員会合同視察研修

オリックス資源循環(株)を視察

大規模災害時の市の対応と

災害廃棄物の処理対策

総務産業常任委員会
委員長 田中 英明
副委員長 鷹取 偉一
委員 白鳥 純雄
" 川島 秀夫
" 杉本 公文
" 杉本 友栄
" 岡部 幸喜
" 尾形 重寅

文教厚生常任委員会
委員長 長田喜巳 夫
副委員長 小俣 修子
委員 遠藤美智子
" 川田 好博
" 久嶋 成美
" 東山 洋昭
" 山口 好昭
" 尾形 幸召

総務産業常任委員会と文教厚生常任委員会では閉会中の調査として、7月18日、埼玉県寄居町の埼玉環境都市センター内にある、オリックス資源循環(株)の視察調査を行いました。



オリックス資源循環(株)にて

総務産業常任委員会では、大規模災害時の市の対応について調査を行いました。

視察した施設は、市の災害廃棄物を十分受け入れられる大きな施設であることが確認でき、大規模災害時の市の対応策として、進めるべきものでありました。

災害廃棄物の仮置場の指定・確保、運搬ルートの確認など、廃棄物を運び出す前までの対応も同時に進めておく必要があります。

まだまだ想定しなくてはならない対策が数多くあり、災害の発生前にできる対応の検討など当局に要望しました。

一方、文教厚生常任委員会では、災害廃棄物の処理対策について調査を行いました。

廃棄物は、生活環境の保全・公衆衛生の悪化をもたすため、円滑で迅速な処理が重要です。いかに早く処理するかが早期の復旧復興につながると考えます。市の施設が被災し、使用不能となることを想定すれば、廃棄物を受け入れてくれる別の処理施設を確保しておく必要があります。

視察した施設は、一日の処理能力が450トと国内最大規模で、最大2000℃で熔融ガス化し、受け入れ廃棄物全てを再資源化することができ、市の災害廃棄物を十分受け入れられる

規模でした。今後協定を締結すると共に、定期的な協議を行い、災害時の対応を図ることが求められます。

また、この施設は災害時だけでなく、一時的に受け入れることも可能で、市の焼却炉のメンテナンスの期間など、可燃物の委託処理も可能とのことでした。

市の施設は、建設から19年が経過しているため、毎年多額の修繕費が発生しています。このため、広域化や民間への処理委託を含めた、ゴミ処理体制の検討を進めるよう当局に要望しました。

議会だより
編集常任委員会

静岡県島田市議会を視察

議会だよりをわかりやすく

読みやすくするために

委員長	東山 洋昭
副委員長	川田 好博
委員	白鳥 純雄
〃	遠藤 美智子
〃	久嶋 成美
〃	川島 秀夫

当委員会では、8月8日、市町村アカデミー主催の議会広報紙編集講座でサンプルに選ばれた静岡県島田市議会に伺い、視察・調査を行いました。



島田市役所会議室にて

島田市は「箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川」といわれた大井川をはさんでの江戸寄りと京都寄りの両岸に宿場があり、雨などにより、川留めが長く続くと東海道を往来する人々でこった返し、非常に盛況であった宿場として有名なところだ。

当委員会では、視察に先立ち、より効率よく充実した視察を行うため、各委員から事前提出してもらった質問事項を視察先に連絡し、貴重な時間の有効利用にも努めました。

さて、島田市議会の「議会だより」に関する特別委員会」は数年前より議会だよりをより市民に分かりやすく、読みやすい紙

面にするため、積極的に先進事例先に視察調査を行い、良いところをTTP（徹底的にパクル）をモットーに、現在に至っています。それらのことを踏まえ、当委員会委員から「議会だよりを変えようとしたきっかけは。」との問いに、「自分が読みたくないものは作りたくない」との思いがありました。」と。その後も数多くの質疑を行い、丁寧な回答を得ることができ、非常に有意義な視察調査となりました。

当委員会の委員からの感想は、「その委員だけでなく議員全員、議会全体で支えている様子がかがえた。」「今後、当市議会だよりでも来庁された市民にリニ

ューアルした議会だよりに対し、アンケートを実施してはどうか。」また「良い雰囲気の委員会だと感じました。視察で実感した島田市議会だよりの作成ノウハウを取り入れ、より読みやすく、わかりやすく、親しみやすいものにしていく思いを強く持ちました。」等、前向きで、建設的なものでした。

今後の委員会で、市民にとってより満足度の高い「議会だより」を作り上げていくことを、委員一同再確認しました。

当委員会委員以外の議員各位も、今後ともなお一層のご協力をお願いして、委員会報告といたしました。

常任委員会の審査 総務産業

バス停工事は補助金活用のため 分離発注しないで変更契約

委員長	田中英明
副委員長	鷹取偉一
委員	白鳥純雄
〃	川島秀夫
〃	杉本文
〃	杉本友栄
〃	岡部幸喜
〃	尾形重寅

9月7日、総務産業常任委員会を開催し、付託された16議案の審査と現地調査を行いました。
主な質疑・答弁等を要約してお伝えします。

pick up!

議案第120号（仮称）
上野原市総合福祉センター
ター建設工事請負変更
契約締結について

Q 情報ケーブルの差し込み口の増設が30口に対して、3608メートルのケーブルが必要なのか。

A 当初設計後にセキュリティが強化され、外部からのサイバー攻撃から守る高度なセキュリティ対策を今年度から実施しています。異なる環境の

ネットワークを構築すれば、ケーブルが増えるというのをご理解いただけるか
と思えます。

Q バス停は分離発注して色々な会社に入札の機会を増やすべきで、重機の運搬費も別途計上されているなど全体的に金額が高くないか。

A 効率よく補助金を活用するため、分離発注では補助金の対象にならないため、変更契約としました。

16議案の審査結果

当局より提出された16議案については、採決の結果、議案第120号を除く15議案はいずれも全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。議案第120号は異議があり起立採決した結果、賛成多数で原案どおり可決すべきものと決定しました。

また、地域活性化の取組みについて先進地事例を調査すべきとの意見があり、閉会中の継続調査とすることと決定しました。

現地確認

議案第117号、市道路線変更については、審査終了後、田野入（島田）地区内における変更箇所を調査しました。



（仮称）総合福祉センター
バス停のイメージ



常任委員会の審査 文教厚生

英語検定の全額補助は

英語への関心を高めるため

9月11日、文教厚生常任委員会

を開催し、付託された7議案及び
請願1件の審査と、所管事務調査
を行いました。

主な質疑・答弁等を要約してお
伝えします。

pick up!

議案第105号 平成
29年度上野原市簡易水
道事業特別会計補正予
算(第2号)

Q 秋山西部簡易水道の水利権取得
業務に、なぜ委託料が発生する
のか。

A 秋山西部簡易水道を修繕する
際、水利権を取得するため
の書類で縦断面図、断面図、平
面図が必要となり、その測量
業務の委託料です。

pick up!

議案第100号 平成
29年度上野原市一般
計補正予算(第3号)

Q 実用技能英語検定は休日
に行われるテストで、受験生
の保護者には経済的援助に
なるが、すべての児童生徒
に係る援助をすべきでは。
英語の関心を高める目的で
あるならば、今度小学校に
も英語が教科として入ると
いうので、小学校に英語の
教育に習熟した教員を養成
することが必要なのではな
いか。

A 年3回の受験の機会がある
ので、予定を調整して受講
者を拡大し、33年度までに

3級以上50%の目標に近づ
けるよう進めており、教員
の指導についても小中学校
の英語教育研究会を立ち上
げて、英語教育の研究調査
をしています。

7議案の審査結果

当局より提出された7議案に
ついては、採決の結果、いずれ
も全会一致で原案どおり可決す
べきものと決定しました。

請願第2号については、同
様の内容を例年採択している経
過を踏まえ全会一致で採択すべ
きものと決定しました。

また、閉会中の継続調査とし
て、総合福祉センターの運営状
況について、先進地を視察調査
することと決定しました。

所管事務調査

審査終了後、(仮称)上野原市
総合福祉センターの進捗状況に
ついて、現地調査を行いました。

委員長	長田喜巳夫
副委員長	小俣 修
委員	遠藤美智子
〃	川田 好博
〃	久嶋 成美
〃	東山 洋昭
〃	山口 好昭
〃	尾形 幸召



平成29年第3回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案

(◎賛成討論者 ●反対討論者 ○賛成 ●反対)

議案番号	案件名	付託委員会	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	小俣修	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寅	審議結果
114	平成28年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について	決算特別	○	○	◎	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	議長	○	欠	○	認定

◆全会一致の議案

番号	付託	案件名	結果	番号	付託	案件名	結果
95	総務産業	職員給与と条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	110	総務産業	平成29年度檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
96		個人情報保護条例及び情報公開条例の一部を改正する条例制定について		111		平成29年度秋山財産区特別会計補正予算(第1号)	
97		風致地区条例の一部を改正する条例制定について		112		平成29年度島田財産区特別会計補正予算(第1号)	
98	文教厚生	介護保険条例の一部を改正する条例制定について		113		平成29年度西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計補正予算(第1号)	
99	文教厚生	公民館条例及び学校施設及び公民館使用に関する使用料条例の一部を改正する条例制定について		115	決算特別	平成28年度病院事業会計決算認定について	認定
100	総務産業文教厚生	平成29年度一般会計補正予算(第3号)		116	決算特別	平成28年度病院事業の資本金の額の減少について	原案可決
101	文教厚生	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)		117	総務産業	市道路線の変更について	
102		平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		118	総務産業	上野原駅南口駅前広場整備工事請負変更契約締結について	
103		平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)		119	-	消防署用高規格救急車購入契約締結について	
104	総務産業	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)		120	総務産業	(仮称)総合福祉センター建設工事請負変更契約締結について	
105	文教厚生	平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	121	-	平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	受理	
106	総務産業	平成29年度大目財産区特別会計補正予算(第1号)	122	-	平成29年度一般会計補正予算(第4号)	原案可決	
107		平成29年度甲東財産区特別会計補正予算(第1号)	請願2号	文教厚生	教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	採択	
108		平成29年度巖財産区特別会計補正予算(第1号)	発議2号	-	教職員定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書(案)の提出について	原案可決	
109		平成29年度上野原財産区特別会計補正予算(第1号)					

※ 正式な議案名から(上野原市)を省略しているものもあります。

行政視察

韮崎市議会の皆さんが来庁

8月3日、行政視察として韮崎市議会の議員の皆さん16名が来庁しました。

当市議会で3月より開始した「議会傍聴者託児サービスの取り組み」や「上野原こども園の概要」「(仮称)上野原市総合福祉センターの状況」について視察、調査されました。

当市の取り組みや実施経過など、活発な質疑が行われました。



韮崎市議会の皆さん



上野原こども園

「議会の活性化について」 議員研修会を行いました

研修会

8月31日、全国都道府県議会議長会制度研究アドバイザーである野村稔先生を講師に招き、「議会の活性化について～地方議会のあり方」の研修会を行いました。

当日は、東部地域の近隣市村である都留市、大月市、道志村、小菅村、丹波山村からも議員の皆さんや事務局職員が多数参加し、地方議会の役割や議会改革について有意義な講演を聞くことができました。





特定非営利活動法人わかば
上野原福祉作業所
施設長 山本美喜子さん

上野原福祉作業所では、様々なタイプの利用者さんひとりひとりに合った適材適所で働く支援をしています。それが功を奏してか、何人もの方が一般就労されています。

そして、就労された方も平日の休みの折には、作業所に来て調理などの創作活動しながら、近況を知らせてくれています。

上野原市「地域活動支援センター」という事業は、障害のある方がどなたでも参加できる日中活動の場なので、もっと利用して下さる方が増えるといいのに、と願っています。

また働くだけでなく、生きがいのある毎日が送れるように、様々な活動に参加できる機会を作っていきたいと思いますので、これからも応援をよろしくお願ひいたします。

市

民

の

声



社会人福祉法人上野原若鮎会
わかあゆ工房
施設長 久田登美栄さん

私たち「わかあゆ工房」は、平成18年4月に開所した定員30名の小さな障がい福祉サービス事業所です。

健常者より少し個性の強い人、ゆっくりした動作の人たちが通所し、少ないスタッフの指導のもと手打ちうどん作り、企業からの受託作業を「笑顔で楽しく」をモットーに活動しています。

丹精込めたうどんは、木・金曜日に製麺しており、多くの住民の皆様にご賞味いただければ幸いです。

家路につく通所メンバーは、一日の就業を終えた達成感と笑顔が印象的で、スタッフが安らぎを感じる瞬間です。

これからもサポートを望む皆様の活動の場や居場所づくりに努めて行きたいと思ひます。

12 月定例会予定

一般質問傍聴者託児サービスを実施

一般質問を傍聴する際、満1歳以上～就学前のお子さんをお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の一週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

なお、通常の傍聴の際は予約の必要はありません。

当日、3階の議会事務局受付までお越しください。



日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
				本会議 (初日)	議案調査	
3	4	5	6	7	8	9
	総務産業 常任委員会	議案調査	文教厚生 常任委員会	議案調査	本会議 一般質問	
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 一般質問	本会議 一般質問 (予備日)	議案調査	本会議 (最終日)		

編集 後記

市内のあちらこちらで保育園や幼稚園、そして小、中学校の運動会や学園祭が行われ、そしてまた、それぞれの地区において、敬老会が開催されました。

まさに、実りの秋にふさわしく楽しい行事が盛りだくさんの季節です。元気な笑い声や歌声が響き渡り、子供たちのはしゃぐ姿に目を細めていたおじいちゃん、おばあちゃん、ステキな光景でした。

いつまでも元気で長生きしてくださいね。(久嶋)

議会だより編集常任委員会
委員長 東山 洋昭
副委員長 川田 好博
委員 白鳥 純雄
委員 遠藤美智子
委員 久嶋 成美
委員 川島 秀夫

